

令和 3年度 3月



能登高だより

～ 臨時増刊号 ～

石川県立能登高等学校

927-0433 石川県鳳珠郡能登町字宇出津マ字 106-7

TEL:0768-62-0544 FAX:0768-62-2935

ホームページ <http://www.ishikawa-c.ed.jp/~notoxh/>

(ブログ <http://blog.goo.ne.jp/notokoukou/>)

メールアドレス notoxh@m1.ishikawa-c.ed.jp



祝・第十一次卒業証書授与式挙行 令和 四年 三月 一日(火)

式辞

冬の寒さもようやく和らぎ、春の息吹が感じられる今日のこの佳き日に、来賓として能登町長 大森凡世様、能登高校PTA会長 木引和仁様の御臨席のもと、第十一次卒業証書授与式を挙行できますことは、本校職員一同大きな喜びでございます。高い席からではございますが、厚く御礼申し上げます。

また、お子様の成長を見守ってこられた保護者の皆様におかれましては、今日の晴れやかなお子様の姿を前にして、感慨もひとしおのことと拝察いたします。三年間にわたる皆様の御理解と御協力に、感謝申し上げますとともに、心よりお慶び申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与しました六十七名の第十一期生の皆さん、御卒業おめでとうございます。三年前、皆さんは希望を胸にこの能登高校に入学して努力を重ね、所定の学業を終えました。これは一人ひとりが、三年間たゆまぬ努力を積み重ねてきた結果であることは、言うまでもありません。心から祝福いたします。



入学時は、まだあどけない顔立ちだった皆さんも大きく成長して、本日の卒業式を迎えることができました。その過程を私はつぶさに見てきました。定期考査では回を追う毎に成績優秀者が増え、この壇上に多くの人が並びました。更に、本年度の北信越インターハイでは十六名が出場し、男子ソフトテニス部の辻花・松本組が個人戦三位入賞、アーチェリー部女子団体が七位入賞と見事な成績を残し、文武両道を体現してくれました。これらは身体的な成長と共に、精神的な成長がなくては成し遂げられないこととです。

皆さんの活躍はこれにとどまらず、総合的な探究の時間でも独創的な取組を行ないました。

一昨年度は「なぜ積極的に、トイレを使おうと思わないのか」の発表を機に、一部のトイレに温水便座が設置され、今年度はトイレが全て洋式へ改修されました。昨年度は、能登町の御協力を賜り、観光名所や特産品をあしらったマンホールの設置やコースターの販売を実現するなど、自主性と創造性を磨き、探究課題の結果に結びつけてきました。その精神は一、二年生にも受け継がれています。

また、皆さんは二十二もの中学校から広範囲に集まってきています。これだけ多くの中学校から集まっているため、能登高には価値観の多様性が存在し、相互理解や切磋琢磨して何よりも協調性を育むことができる最適な学校であります。

このような素晴らしい学校の卒業生であることを誇りに、今後も努力と成長を続けていってほしいと願っています。そのためには、我々の校訓である「自主」「協調」「創造」を忘れないで下さい。能登高の校訓は、未来



の社会を生き抜くための指針を与えてくれています。四月からの新生活でも何か困ったことがあったら、校訓を思い出して下さい。どう行動すれば良いか、ヒントを与えてくれるはずです。この崇高な校訓を今一度胸に刻み、夢と希望を持って、逞しく生きていって下さい。卒業生六十七名の大いなる飛躍を祈念し、式辞といたします。

令和四年三月一日

石川県立能登高等学校長

角 秀明



答 辞

冬の寒さも和らぎはじめ暖かい陽の光が降り注ぎ、春の訪れを感じる今日のよき日に、私達67名は、能登高校第十一期生として、卒業できる事を嬉しく思います。

また本日先生方をはじめ、ご来賓の皆様、保護者の皆様にご臨席いただき、卒業生を代表し、厚くお礼申し上げます。

今、思い起こせば三年前の春、私たちは、真新しい制服に身を包み、大きな期待と不安に胸を膨らませ、能登高校へ入学しました。様々な地域から来た学生がいる私たちの学年は、個性的な仲間で構成された賑やかでも仲のいい学年です。そんな仲間達と助け合いながら今日を迎えることができました。

一年生の頃は毎日が新鮮で知る事に精一杯でした。新しい学校、新しい友達と共に迎える日々を楽しんでいましたが、日が進むにつれ気が緩み先生に口応えをしたり、授業中に話をしたりすることが当たり前のような日常になってしまいました。しかしそんな私達を指導してくださる先生方やカッコいい背中を見せてくれた先輩のおかげで学校生活の土台作りができたと思います。

そして一年の月日が経ち、私達はコロナウイルスという未知の恐怖に襲われました。三ヶ月近くの休校期間で当たり前前日常は当たり前では無いことを深く知り、二年生になりました。後輩ができ先輩になったり、チューターで進路を考える機会が増えたりして、本格的に進路を考え初め、最上級生になる準備を進めていました。

そして迎えた三年生、もうこの時には一年生の時のような大きな問題やトラブルはなくなりました。そしてひたすら試験のための面接や学科試験の対策を毎日遅くまで残って励んできました。そんな時に笑顔で応援してくれる家族や相談し合える友人、親身になって進路を考えてくださる先生

方のおかげで私たちは勇気を持ってました。

この三年間、楽しかったこと、辛かったこと、色んなことを乗り越えて今この場に立っています。一生懸命練習した文化祭での合唱、きつい言葉を言ってしまった喧嘩になった友達、泣きながら話し合った部活動。たくさん時間が私達のかげがえのない思い出です。

在校生のみんなへ

物事を始める時に自分じゃ出来ないだろうと考えるのではなく、まずはやってみる事が大切です。失敗しても大丈夫。やってみることに意味があります。自分じゃできないと考えると自分の可能性を捨てているのもつたいないですよ。自分の可能性を広げるためにたくさんチャレンジして一つでも多く社会で使える必殺技を習得してください。能登高校で学んでいるみんななら出来ると信じています。

先生方へ

三年間私達に分かりやすく楽しい授業をして下さりありがとうございました。授業態度が悪かったことなどで迷惑もかけましたが、放課後も勉強を教えてくださいだったり、色々な相談に乗ってくださいだったりした事、本当に感謝しています。

そして担任の干場先生、松森先生。私達の高校生活で最大の幸運はお二人が担任だったことです。総合的な探究の時間や、学校行事、様々な場面で普通科、地域創造科関係なく共に学び親睦を深めてきましたが、その裏では、担任のお二人のサポートがありました。

この学年はクラス関係なく仲が良いと胸を張って
言えるのはお二人のご尽力のおかげです。また、
三年間情けない所や未熟な所を指導して下さり、
進路について親身になって考えてくださったこ
と、お二人にはたくさんの感謝でいっぱいです。

家族へ

18年間育ててくれてありがとう。毎朝早く起きて
美味しい弁当を作ってくれたこと、進路などの悩
みを聞いてくれたこと。たくさんの愛情を私達に
注いでくれましたね。いっぱい愛情を受けて私
達はここまでやってこれました。これからは親元
を離れますが、成長して貴方達にたくさん恩返し
ができるようなビッグな人間になる予定なので楽
しみに待ち構えていてください。

同級生のみんなへ

三年前は名前も知らなかったのに気づけばもう
お別れです。三年間毎日一緒に学び笑いあつて
たのに明日からはそれぞれ違う場所で新たなスタ
ートを切るといことがとても不思議ですね。当
分会えなくなる人やもしかすると一生会わない人
がいるかもしれません。ですが、会えなくても私
達が三年間笑いあつた日常や、切磋琢磨した思い
出は心に残り続けます。とても寂しいですが、一
人ひとり、能登高校での思い出を胸に自分の道を
切り開いていきましょう。そしてお互い成長しま
た会えたら、思い出話でも語りましょう。三年間
本当にありがとう。

最後になりましたが私達は今日をもって能登高校を
卒業します。高校卒業という区切りにはなりますが、
私は人生にゴールはないと思っています。高校卒業、
会社の内定、大学合格通知、それらがゴールではあり
ません。その先に自分が学び行動してどう成長するの
か、そしてそのサイクルを続けていくことが大切です。
常に目標を持ちお世話になった人に恩返しできるよう
な人間になる。そんな私達の新たな決意と能登高校
の更なる発展を願い答辞とさせていただきます。

令和四年 三月一日

第十一次卒業生代表

橋本 楓香



送 辞

まだまだ寒い日が続きますが、冬空から時折差し込
む春の暖かな光を見ると、皆さんの輝く笑顔が浮かん
できます。本日能登高校を巣立っていかれる卒業生の
皆さん、ご卒業おめでとうございます。

後輩に託した夢。先輩から受け継ぐ夢。

伝統を紡ぐ。卒業の日。

私は二年間、卒業生の皆さんの姿を見ながら高校
生活を送ってきました。皆さんと過ごした時間を振
り返ると、楽しい思い出ばかりでした。三年生の本
気の姿が見えた球技大会、クラス一丸となって模擬
店を行っていた能登高祭、様々な演出で見る者を楽
しませてくれた体育祭。皆さんほどの学校行事に対
しても全力で向き合い、楽しんでいました。また学
校行事だけでなく、三年生の教室からはどんな時で
も明るく元気な声が聞こえてきました。廊下ですれ
違った時には声をかけてくださり、一緒にくだらな
い話をして笑い合ったことは、私にとってかけがえ
のない思い出です。今の能登高校の活気は、皆さん
がいたからあるのだらうと感じています。私は高校
生活をどのように楽しむべきか、皆さんから教わる
ことができました。

しかしいつも楽しく、面白おかしく過ごしていた
だけではありません。真剣に授業や行事に取り組む
姿、先生方や外部の方にきちんと挨拶をする姿、部
活動に必死に取り組む姿からは、また違った印象を
受けました。受験期には、昼休みや放課後の時間を
使って何度も面接練習をしたり、補習や個別指導を
受けたりしている皆さんの姿を私たち下級生はいっ
も見えていました。一緒に笑い合っていた時とは違う
真剣なまなざし、目標に向かって逃げずに立ち向か
う姿勢から、私たちは能登高生としてのあるべき姿
を学ぶことができました。

楽しむときは楽しむ、やるべき時はやる。気持ちの切り替えができる卒業生の皆さんは私たち下級生の素晴らしい手本であり、憧れるか正直不安です。しかし、皆さんが築き上げた能登高校の良き伝統を失うわけにはいきません。私たちはこの伝統を受け継ぎ、今更以上素晴らしい学校にしていきたいです。卒業生の皆さんも次のステージでより大きなそれぞれの花を咲かせてください。

最後に私から卒業生の皆さんにメッセージを送ります。就職、進学とそれぞれの進む道は違いますが、四月から皆さんは今までよりも広い世界に飛びこむこととなります。不安なことも多いかもしれませんが、辛いことや悲しいこともきつとあるでしょう。しかし、皆さんにはぜひ楽しむ気持ちを忘れないでほしいと思います。新しいことに挑戦するときには、上手くいかないこともたくさんあります。しかし、挫折そうになった時は能登高校で過ごした三年間を思い出してください。高校生活を全力で楽しんだ皆さんならば、どんな時でも、どんな場所でも明るく元気にやっていくことができると思います。信じています。社会人として、大学生として輝く姿をまた私たちにを見せてください。皆さんはいつまでも私たちの憧れです。皆さんに近づけるよう、私たちも努力していきますので、皆さんも新たな生活で楽しんでください。

この時間もそろそろ終わりが近づいて名残惜しく感じますが、在校生一同、卒業生の今後の益々のご活躍とご健康を祈念し、送辞といたします。

令和四年三月一日

在校生代表

矢知 健志



令和3年度各賞受賞の皆さん

皆勤賞	1組〔安宅 麗、飯田 仁人、井島 真菜、川江 咲希、小路あみん 達 光咲、平澤 海憂、堀田 園乃、松村 尚〕 2組〔正木 史也、岡田 響太、丹羽 祐〕 以上12名
精勤賞	1組〔加藤 玲央、背戸 彩華、竹山 玲美、立岩 らん 辻花 陸、 津島 青空、免田 梨伽、吉田 響〕 2組〔堂下 翔伍〕 以上9名
体育功労賞	アーチェリー部 1組〔鷹 つばさ、平澤 海憂、白崎 陽花〕 2組〔大谷内翔英〕 男子ソフトテニス部 1組〔飯田 仁人、竹田 凌、辻花 陸 津島 青空、松本 隼〕 女子ソフトテニス部 1組〔川江 咲希、木宮 歩乃、達 光咲、 立岩 らん、堀田 園乃、免田 梨伽〕 ウエイトリフティング部 2組〔堂下 翔伍〕 以上16名
文化功労賞	2組〔正木 史也〕
生徒会功労賞	1組〔濱中 陸〕 2組〔丹羽 祐、橋本 楓香、濱口 眞斗〕
ボランティア活動賞	2組〔丹羽 祐〕
産業教育振興中央会賞	2組〔正木 史也〕
全国農業高等学校長協会賞	2組〔齊藤 雅也〕
全国福祉高等学校理事長賞	1組〔川江 咲希〕
全国商業高等学校長協会賞	2組〔坂口 茜〕
全国水産高等学校長協会賞	2組〔丹羽 祐〕
商業教育研究会グロリア賞	2組〔橋本 楓香〕

能登町スポーツ賞：ソフトテニス部 辻花 陸、松本 隼
能登町スポーツ奨励賞：陸上部 窪田 璃恩
ソフトテニス部：飯田 仁人、木宮 歩乃、竹田 凌、達 光咲、立岩 らん、津島 青空、免田 梨伽
アーチェリー部：鷹 つばさ、平澤 海憂、白崎 陽花、大谷内 翔英
ウエイトリフティング部：堂下 翔伍、半田 大晟
能都ロータリースポーツ賞：ソフトテニス部 辻花 陸、松本 隼
野球部：架間 省吾、室谷 真央、猪子 航大、齋藤 雅也、浅田 晃太
能都ロータリー文化賞：達 光咲、立岩 らん